

持続可能な社会を

大館市
環境審議会

委員17人に委嘱状

大館市環境審議会が19日、市役所で開かれ、学識経験者や市民公募などの17人を委員に委嘱した。任期は2027年4月30日まで2年。

石田健佑市長が委員一人一人に委嘱状を手渡した。市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）が24年度末に完成し、市は森林資源や再生可能エネルギーの活用を推進する方針。石田市長は「経済と環境を両立することが重要。持続可能な仕組みを議論し、大館に合った仕組みをつくってきたい」とあいさつした。

会長に秋田看護福祉大学の水木暢子学部長、副会長に秋田職業能力開発短大の中村雅英校長を選出した。

当局から本年度の環境施策について報告があり、同実行計画の概要を説明した。脱炭素社会を実現するため、30年度目標として▽温室効果ガスの排出削減対策の推進▽省エネ家電導入累計500件、エコリフォーム同903件などを挙げた。

正副会長以外は次の通り。
太田見修広（県北秋田地域

振興局大館福祉環境部）仲澤和子（大館商工会議所）田中俊彦（大館北秋商工会）戸田由美子（市連合婦人会）鎌田江利子（県北NPO支援センター）石山正喜（大館エコマネジ）小山光弘（エコシステム秋田）村上敬喜（エコシステム花岡）梶原史洋（エコリ

サイクル）山脇精悦（タイセイ）佐々木康二（近江商店）武田秀夫（比内農畜社）工藤寿史（秋北清掃センター）藤原清美（公募）梶原重年（同）

石田市長から委嘱状を受け取る委員（大館市役所）

